

【意見交換】

【Q】

「振り返りの期間」の具体的な内容とは（中学校では「単元テスト」実施中、参考にしたい）。

【A】

放課後 35 分間の課題等に、約 2 週間取り組ませる。考査がゴールという意識を回避し、普段の授業改善につながるような評価、次の指導への課題発見に取り組んでいる。

【Q】

「振り返りの期間」について教員の反応（負担）はどうか。

【A】

100 点満点で採点する、成績処理の期限がある、などの制約から外れて、教科裁量なので自由度が高い。日々の指導改善につながるような、教科内の話し合いが活発になったと感じる。

【Q】

校内でのスマホ使用ルールが徹底されているのは、どういう指導をされているのか。

【A】

小・中学校での指導が積み重ねられて、近年は大きなトラブルがなく、マナーが良くなっていると感じる。タブレットを使っての講習も工夫していきたい。

【Q】

進路目標が思っていたほど明確でないようだが、どのような状況か。

【A】

新型コロナで中止となっていた講演会やオープンキャンパス等の情報提供を行い、外部から刺激を与えることや、担任・教科担任との語り込みを通して、目標を具体化させていきたい。

【提案等】

- 学校評価アンケートの生徒・保護者と教員との「信頼関係」の面が高く評価されている。

学校が評価されるためには外観もきれいでなければならないと思う。予算を組み外壁工事等を行い整備していくことは重要である。

AEDの講習会を行うのは良いが、設置場所を把握できていることが重要である。校内ならびに地域内のAEDが活用されるよう、高校生にも学習の機会があればよい。（公民館では地図に仕立てているが周知徹底に至っていない。）

- 学校からの連絡がプリントだけでなく、Classi 経由で配信されるとありがたい。欠席している・プリントを持ち帰らないなどの場合により。学校ブログも中学生向けの情報発信として、ぜひ活用してほしい。

- 1 学年の息子との会話が少し減っている、スマートフォン使用の家庭内ルールを改めて確認して行く必要を感じる。

安心安全メール等で悪天候時の早めの登校判断・連絡があったので、仕事のある保護者にとって非常に助かった。

- 広域からの通学生は不安も抱えている場合があるので、先生方の一層の支援で充実した高校生活となるよう期待している。